

中国の国際大会

鹿嶋サッカーチーム快挙

U-17優勝、U-15準優勝

中国・瀋陽市で開催された第10回「平和カップ」国際青少年サッカー大会に、鹿嶋市内の中学生による2チームが出場し、U-17（17歳以下）の部で優勝し、U-15（15歳以下）の部でも準優勝した。同チームの代表者ら6人が27日、鹿嶋市役所（同市平井）を訪れ、田口伸一市長に喜びを語った。



同大会は、サッカーによる青少年の国際交流を目的に12～17日に行われ、世界9カ国からチームが参加した。鹿嶋市内で開いたサッカーフェスティバルに中国のチームが参加したことから、鹿嶋市も招待されて初めて参加した。

U-17の部には12チームが参加。同部に出場した鹿嶋学園高サッカー部は、リーグ戦とトーナメント戦で5勝して優勝した。U-15の部は18チームが参加。鹿

田口伸一市長（前列右）と川村等教育長（前列左）に大会の結果を報告した生徒ら＝鹿嶋市役所

嶋市内の中学生で構成した選抜チームは4勝1敗となり準優勝した。

鹿嶋学園高サッカー部、1年の高橋晃葵さん（16）は「アップ（準備運動）から声を出して意識を高め、いい雰囲気ですぐに臨めた」と話した。U-15選抜チームの鹿嶋高付属中3年、大川真梧さん（14）は「海外の相手は体が大きく体力も強

かった。自分たちのサイドは足の速い選手が多いから、くずせた」と振り返った。市サッカー協会の内野浩会長は「連戦できつかっただろうが、弱音を吐かずにやりきった。試合を重ねるごとに成長していた」と話した。田口市長からは「日頃の努力と情熱が実を結んだ」とたたえられていた。（三上山明里）